



【ボタン】

「立てばシャクヤク 座ればボタン 歩く姿はユリの花」

この言葉は美しい女性の容姿や立ち居振る舞いを花に例えて形容する言葉ですが、みなさんも一度は聞いたことがあるのではないのでしょうか？ボタンは中国北西部が原産で、その根が薬草として使われてきましたが、花の美しさから観賞用として栽培されるようになり、その後僧侶が中国から持ち帰り日本に渡ってきたなどと言われています。

芳紀（赤）



出典：須賀川牡丹園ウェブサイト「ボタン図鑑」より

高貴な大輪の花を咲かせ圧倒的な存在感を誇るボタンとシャクヤク、どちらもボタン科ボタン属で花だけを見ると見分けが付きませんが明確な違いがあります。

① ボタンは樹木か草か？

ボタンは樹木：茶色い幹があり、枝分かれした横張りの枝の先端に花を咲かせます。落葉低木のため冬になると葉は落ちますが、木のまま冬を越し枝から新芽を出します。

シャクヤクは草：茎もそれほど太くなく、春に芽吹いたあとはまっすぐ茎を伸ばし先端に花を咲かせます。冬になると根を残して地上部は枯れ、春にまた新芽を出します。

② 葉の形で見分ける方法

ボタン：ギザギザした切り込みが入ったような形で、ツヤはありません。

シャクヤク：切れ込みはなくやや丸みを帯びている形で、厚くツヤがあります。



ボタン

③ 開花期、つぼみの形、花の散り方

ボタン：4月下旬から5月中旬（晩春）、冬に咲く種類もあります。

つぼみの先が尖り、花びらが少しずつ散ります。

シャクヤク：5月から6月（初夏）

つぼみは丸く、花びらがバサッと崩れ落ちるように大胆に散ります。

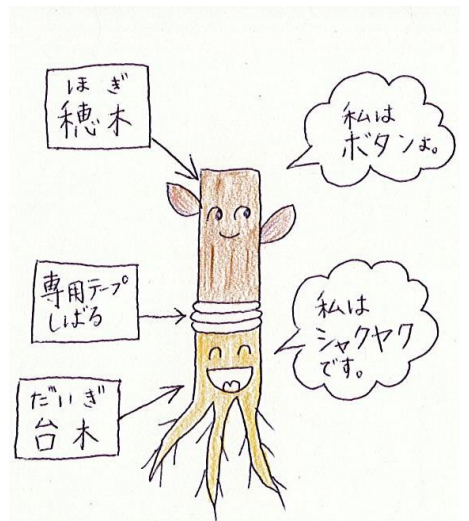


シャクヤク

この様に違いはありますが、実はボタンとシャクヤクは一緒に育ってきたものもあります。一緒にとはどういうことかと言うと、ボタンを増やすには、主に種まき（実生）と、2種類の植物を合わせて1本にする方法です。根が強いシャクヤクの根に直接ボタンの枝をくっつける（接ぎ木）と、ボタンが枯れにくくなることから、売っているほとんどのボタンはシャクヤクの根に接ぎ木されています。右の絵の通り根はシャクヤクで幹はボタンです。

ボタンがうまく育たず、強い台木のシャクヤクが芽を出すことがあり、もしかしたら自宅に植えてあるボタンはいつの間にかシャクヤクに変わっているかもしれません。

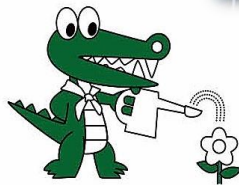
相談所前のリボン花壇などに5種類のボタンを鑑賞することができるので、ヒラドツツジが咲くころにぜひお越しください。



3月の花とみどりの講習会

【デンドロビウムの育て方】

日時：3月11日（土）10時～12時
場所：花とみどりの相談所
内容：デンドロビウムの育て方を学びます。
講師：木村照雄さん（元同所相談員）
費用：1,000円
定員：24人
申込：3月4日（土）
9：15～電話可 先着順



【ブルーベリーの育て方】

日時：3月25日（土）10時～12時
場所：花とみどりの相談所
内容：育て方を学び、苗を植え付けします。
講師：中川増一さん（元同所相談員）
費用：1,500円
定員：24人
申込：3月18日（土）9：15～電話可 先着順
※コロナウイルス感染
拡大防止のため中止
とさせていただきます場
合があります。



花とみどりの相談



相談時間は、火曜日・木曜日の午後1時から4時30分までです。
電話による相談も行っています。

《3月の休所日》 毎週の日曜・月曜日と21日(火)です。



豊中市 花とみどりの相談所

〒561-0804 豊中市曾根南町1丁目4番1号（豊島公園内） 阪急宝塚線 曾根駅南 徒歩5分

TEL 06-6863-8439

FAX 06-6863-3638